

平成 30 年 5 月吉日

一般社団法人 教科書協会  
会長 野澤 伸平 様

高校歴史教科書の「歴史用語」削減提案についての要請

教育を良くする神奈川県民の会  
代表 新井 三男

謹啓 薫風の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、教科書出版事業を通じてわが国の教育に多大な貢献をいただいておりますことに敬意を表します。さて、新聞報道等によれば「高大連携歴史教育研究会」という団体が、高校歴史教科書で扱われる「歴史用語」が膨大で、暗記中心となり思考力を育成する授業を妨げているとして、用語を半減させる提案をしていますが、安易に削減することには大きな問題があります。つきましては、下記の通り要請致しますので、よろしくお取り計らい戴きますようお願い申し上げます。 謹白

～ 記 ～

1. 要請事項

高校歴史教科書で扱われる「歴史用語」を安易に削減しないようお願い致します。特に、歴史上の人物名や文化史用語を削減しないようお願い致します。

2. 要請の理由

(1)ゆとり教育の再来

「詰め込み教育」と言われる知識の暗記を重視した教育から思考力を育成する教育に転換するとして実施された「ゆとり教育」と、膨大な歴史用語の暗記を重視した教育から歴史的思考力を育成する教育に転換するとの今回の「歴史用語削減案」は基本的考え方が同じであり、「ゆとり教育」失敗の轍を踏む恐れが強いと懸念されます。

(2)中・高で逆転現象

弊会の調査によれば、高校の歴史教科書に「歴史用語削減案」が採用されると中学校の歴史教科書のほうが用語（人物）が多くなるという中・高逆転現象が起きます。将来、中学校歴史教科書にも歴史用語の削減が波及すると、中・高を通して歴史の授業が極めて貧弱なものになる恐れがあります。

(3)人物軽視

「歴史用語削減案」は、政治・経済・社会に関する用語と比べ、歴史上の人物を軽視する姿勢が顕著です。歴史は何らかの法則により動くものではなく、あくまでも人が歴史を動かすという視点が欠落しています。これでは、歴史を学ぶ楽しさを実感させる授業ができません。

(4)伝統・文化の軽視

人物、事象、作品、建造物など文化史用語が大幅に削減されることになっ

ています。例えば神話についても、「古事記」に関して稗田阿礼・太安万侶・神武天皇などが削除されています。これでは、日本の素晴らしさを生徒に教えることができません。

(5)不適切・不正確な用語の採用

「従軍慰安婦」「南京大虐殺」など歴史的事実関係に照らし多くの疑問があり、誤解を与えかねない不適切・不正確な用語が採用されています。記述内容にもよりますが、歴史の真実を学ぶという観点から疑念があります。

(6)現在の価値観で過去を断罪する恐れ

歴史用語を選定するにあたり、「現代的課題を考える上で必要な歴史用語やそれを理解するための歴史や社会に関する諸概念を重視」するとしていますが、これでは例えば「ジェンダー」という視点で歴史を見るなど、現在の価値観で過去を断罪する恐れがあります。歴史を学ぶにあたっては、その時代の人々がどのような考えで行動したかを正しく理解することが重要です。

(7)不明確な「用語」選定基準

「用語」選定基準として「政治体制や社会経済を叙述するうえで必要なもの」「現代社会に通じる事項」「概念用語」などは積極的に導入する一方、「歴史上の人物」「文化史用語」などは大幅に削減するとしています。しかし、個別具体的な用語の選定理由は極めて不明確です。「高大連携歴史教育研究会」幹部にはイデオロギー的な発言が多く、用語の選定が著しく偏向するのではないかとの危惧があります。

以上のように「歴史用語削減案」には多くの問題があります。つきましては、高校歴史教科書の「歴史用語」を安易に削減しないようお願い致します。特に、歴史上の人物名や文化史用語を削減することは避けるようお願い致します。

本件に関し、貴協会の見解を賜れば幸甚です。

以上

(問い合わせ先)

教育を良くする神奈川県民の会  
運営委員長 木上 和高  
鎌倉市梶原3-11-14  
電話：0467-43-2895